

本書の特色

●「文章の問一答」と「資料・文章選択・文章記述」の2部構成

本教材は、歴史の問題を解く上で必要な項目を集めた問一答式の問題集です。ただ用語を答える問題だけでなく、さまざまな形式の問題で構成されています。問題は、各単元の重要項目を取り上げています。学習した範囲の知識がしっかりと身につけているかどうかをみる復習のための問題集としても活用できます。

●実践を意識した構成

史料や写真などを使った問題で、用語の知識をより実践的に身につけることができます。また、文章選択問題や、文章記述問題も多く出題されていますので、応用力を養うこともできます。

本書の構成

●各課の構成

- 1ページ目……用語を確認する問一答式の問題です。各単元を、さらに項目ごとにわけてありますので、確認したい項目を選んで学習することもできます。
- 2ページ目……史料や写真などを使った問題や、文章選択・文章記述問題といった応用問題です。それぞれの問題に出題形式が示されていますので、苦手なところだけを重点的に解いていくこともできます。

もくじ

社会 ■ 歴史

第1章 古代までの日本

- 1 文明のおこり 2
- 2 日本の成り立ち 4
- 3 飛鳥時代 6
- 4 奈良時代 8
- 5 平安京と摂関政治 10

第2章 中世の日本

- 6 武家政治の始まりと鎌倉幕府 12
- 7 鎌倉時代の政治とくらし・文化 14
- 8 鎌倉幕府の滅亡と室町幕府の成立 16
- 9 社会の変動と応仁の乱 18

第3章 近世の日本

- 10 ヨーロッパの世界進出と日本への来航 20
- 11 安土桃山時代 22
- 12 江戸幕府の成立と鎖国 24
- 13 幕府政治の動き 26
- 14 産業の発達と社会の変化 28

第4章 近代の日本と世界

- 15 ヨーロッパの近代革命 30
- 16 産業革命とヨーロッパのアジア進出 32
- 17 開国と江戸幕府の滅亡 34
- 18 明治維新 36
- 19 立憲政治の始まり 38
- 20 日清・日露戦争 40
- 21 日本の産業革命 42

第5章 二度の世界大戦と日本

- 22 第一次世界大戦 44
- 23 大正デモクラシー 46
- 24 世界恐慌 48
- 25 日本と中国の戦争 50
- 26 第二次世界大戦 52

第6章 現代の日本と世界

- 27 占領と日本の民主化 54
- 28 日本の国際復帰 56
- 29 国際社会と日本 58

- 歴史のまとめ 60

写真：十日町市博物館／鳥取埋蔵文化財センター／Image: TNM Image Archives／共同通信社／福岡市博物館／朝日新聞社／東大寺／飛鳥園／中尊寺／東京大学史料編纂所／奈良市教育委員会／Kobe City Museum／DNPartcom／徳川美術館所蔵 (C) 徳川ミュージアム・イメージアーカイブ／長崎歴史文化博物館／貨幣博物館／大阪歴史博物館／東書文庫／美術同人社／新潟県立文書館／神奈川県立歴史博物館／日本製鉄株式会社 九州製鉄所／国立国会図書館ウェブサイト／ユニフォトプレス(順不同・敬称略)

第1章 古代までの日本

5 平安京と摂関政治

026 平安京と平安時代初期の政治・文化

次の文の()にあてはまる語句や人名を答えなさい。

- (1) 貴族や僧による勢力争いが激しくなって、政治が混乱したため、()は都を平城京から長岡京に移した。
- (2) (1)は、律令政治の立て直しをはかるため、()の監督をきびしくして不正を取りしまるとともに、班田収授法が確実に行われるように努めた。
- (3) (1)は、坂上田村麻呂を()に任命して、東北地方で独自の生活をおくり朝廷に従わなかった蝦夷とよばれる人々を討たせた。
- (4) 唐にわたって帰国した()は、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた。
- (5) (4)と同じころに()は、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

027 藤原氏が摂政・関白となって行った政治

次の各問いに答えなさい。

- (1) たくみに他の貴族を退けていった藤原氏は、さらに勢力を拡大するために、娘を天皇の何にしたか。
- (2) 天皇が幼少のときに、藤原氏の一族がついた役職を何というか。
- (3) 天皇が成人したのちに、藤原氏の一族がついた役職を何というか。
- (4) 藤原氏の摂関政治全盛期に、自らの力の大きさを誇る、「この世をばわが世とぞ思う望月の欠けたることも無しと思えば」の歌をよんだ人物はだれか。
- (5) 894年に、遣唐使に任命されたが、唐の衰退と往復の危険などを理由に、遣唐使の派遣の停止を進言した人物はだれか。
- (6) 摂関政治がさかんなころ、地方の政治は何にまかせきりになったか。
- (7) 勢力が急速におとろえていた唐が10世紀はじめに滅亡したのち、中国を統一したのは何という国か。
- (8) 10世紀前半に、朝鮮半島で新羅がほろんで建国されたのは何という国か。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)
- (7)
- (8)

028 国風文化

次の文の()にあてはまる語句や人名を答えなさい。

- (1) 漢字を変形させて、日本語の発音をあらわせるようにした()がつくられ、人々が自由に感情を表現できるようになった。
- (2) 天皇の命令により、()らが和歌集の『古今和歌集』を編さんした。
- (3) ()は貴族の生活を題材としてえがいた長編の『源氏物語』を書いた。
- (4) ()は随筆『枕草子』を書き、自分の感じたことなどをつづった。
- (5) 社会の乱れや人々の不安な気持ちを背景に()がおこり、人々は、念仏を唱えて阿弥陀仏にすがり、死後に極楽浄土に生まれかわることを願った。
- (6) 藤原頼通が宇治に建てた()は、(5)にもとづいて建てられた阿弥陀堂の代表的なものである。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)

029 年表を使った問題

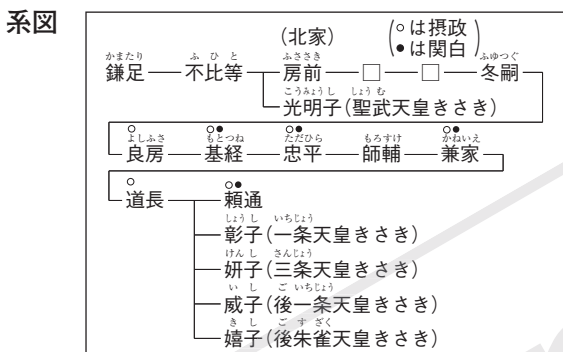
次の年表の①～⑤にあてはまる語句や人名を答えなさい。

年代	できごと
794	桓武天皇が都を(①)に移す。
797	(②)が征夷大將軍に任命される。
805	最澄が(③)の教を広める。
806	空海が(④)の教を広める。
894	菅原道真の進言で(⑤)が停止される。

- ①[]
- ②[]
- ③[]
- ④[]
- ⑤[]

030 文章選択

次の系図や資料を見て、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。



資料



□(1) 系図は藤原氏のものである。これについて、正しく述べている文を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。 []

- ア 藤原氏は、他の貴族と協力しながら娘を天皇のきさきとし、その子を天皇に立てて勢力を拡大した。
- イ 藤原氏の祖である鎌足は、中臣鎌足ともいい、大化の改新で中大兄皇子に協力した。
- ウ 不比等の娘の光明子がついだ聖武天皇は、仏教によって国家の安定をはかろうとし、国ごとに国分寺・国分尼寺を建て、その中心として都に法隆寺を建てた。
- エ 藤原氏が最盛期になったのは、親子がともに摂政・関白となった、基経と忠平のころである。

□(2) 資料は京都の宇治に建てられた平等院鳳凰堂である。このころに広まった浄土信仰について、正しく述べている文を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。 []

- ア 浄土信仰は、空也や源信がわかりやすく説いたために、貴族や民衆の間に広まった。
- イ 浄土信仰とは、念仏を唱えて弥勒仏にすがり、死後に極楽浄土に生まれかわることを願う信仰である。
- ウ 平等院鳳凰堂は、藤原氏の最盛期に書院造という様式で建てられた。
- エ 浄土信仰が広まったころ、貴族を中心に唐風の文化が流行し、日本風の文化はふるわなかった。

031 文章記述

次の各問いに答えなさい。

- (1) 最澄や空海が伝えた新しい仏教の特色について、「山奥」・「修行」の語句を使い説明せよ。 []
- (2) 平安時代の中ごろからさかんになった国風文化について、「唐風の文化」の語句を使い説明せよ。 []